

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カ テ ゴ リ	非 該 当	チェック項目	取組 レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
1	☐	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	①現在 定年延長者、短時間労働者、障害者、外国人社員、外国人技能実習生に対して差別的体制はない。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	☐	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	①セクシャルハラスメントの禁止を就業規則に規定しており②年に2回の個人面談を実施して状況を把握している 【予定】今後、マタハラ、パワハラなどの就業規則を整える。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	☐	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	①定時退社日 月3日実施 【予定】2019年 月4日実施予定 ②日々の勤怠管理表で、前日の時間外をチェックしている③日曜日のローテーション出勤により負荷分散している								8.5 8.8									
4	☐	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	①技能実習生4名にも、技能指導し2級2名合格した また、決算賞与等も支給することがある ②外国人社員4名にも、日本人と同等の制度・処遇を実施している 幹部登用への道筋も出ている ③ボランティア日本語教室へ運営費を支援している				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5	☐	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	①軽微労災が100日程度発生している ②無災害労働日数の500日を目指している ③労災内容を全員朝礼で、原因・対策を発表している ④安全強化月間・安全パトロールを実施している			3					8									
6	☐	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	①ストレスチェックの実施(毎年1月)を方針に掲げ実施している ②年に2回の個人面談を実施して状況を把握している			3														
7	☐	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	①短時間 女性2名在職：子育て後のフル出勤可能 ②外国人女性社員の産休後の復帰を実施した ③定年延長 男性3名 継続採用している ④知的障害者(短時間) 男性1名を継続採用している ⑤多様な人材の様子を、WEB・YOUTUBEで発信している 【予定】ダイバーシティ経営 認証を目指す					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	☐	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	①2017年全社員が国家技能検定 技能士資格を取得 ②等級制度により、3・2・1級、指導員、特級へと昇格 ③新入社員、リーダー、幹部の研修体系を構築している ④小集団活動(毎月)、5S委員会(毎月)、全社発表会(年4回)実施している ⑤キャリア支援表彰 中央職業能力開発協会				4	5.5			8	9								
9	☐	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	①各法令内容を理解して同一労働同一賃金に沿っている 【予定】職場いきいきアドバンスカンパニー認証を目指す					5.5			8.5		10.2 10.3							
10	☐	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	①健康づくりチャレンジ宣言を実施している ②ボーリング大会、スポーツ大会を実施している ③人間ドック、節目検診、予防接種の援助をしている 【予定】健康経営優良法人 認定を目指す ④毎朝 自主参加の体操を行っている			3					8									
11	☐	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	①金属、木材、紙などに分別してマニフェスト産廃処理 ②廃油などもマニフェスト産廃処理 ③プラ、蛍光灯、電池なども産廃処理 ④使い捨てを極力少なくする 【予定】割り箸・紙コップ・紙皿の利用を抑える											11.6	12		14.1			
12	☐	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	①エコアクション21 認証 #0011998 済							7.3						13				
13	☐	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	①エコアクション21 認証 #0011998 済 ②事務所：蛍光灯 現場：水銀灯 を全部LED化実施済 ③天窓にソーラーライトシステムを取付実施済 ④クールビズ・ウォームビズ(20C)を設定し実施している							7.2 7.3					12.4	13.3				
14	☐	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	①有害科学物質は、利用していない ②キュービクルPCBIは、保管している ③機械のフロンガスは、業者引取りしている ④製品は、RoHS対応している			3.9		6.3						11.6	12.4					

[illegible]

カ テ ゴ リ	非 該 当	チェック項目	取組 レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
18	☐	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	①エコアクション21 認証 #0011998 済			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19	☐	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	①WEBにて環境情報を公開している												12.6					
20	☐	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	①屋根上に太陽光パネルを設置して、売電している ②地元工業高校生と水力発電システムを考えて発電利用している。夜間のLEDネオン点灯 【予定】電動バイクに充電し通勤に利用してみる ③駐車場照明に、ガーデニングスポットライトを利用している							7.2						13				
21	☐	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】認証製品の利用に心がける												12.2	13	14	15		
22	☐	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	①就業規則 服務心得 第34条12に明記し周知している																16 16.5	
23	☐	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	①営業方針において、適正な価格設定を行うことを明記し 周知している																16	
24	☐	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	①就業規則 服務心得 第34条9に明記し周知している ②客先と秘密保持契約を書面で交わし保管している								8.2 8.3	9								
25	☐	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	①社員の個人情報は、限定された社員が書面を、施錠できる書棚にて管理している。電子データも限定された社員が、パスワードにて管理している 【予定】基本方針など定めて周知していく																16	
26	☐	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	①顧客の要望により、調査し書面にて提出している ②材料の仕入先から、情報提供してもらい把握している																16	
27	☐	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	①新規取引先、仕入先には、ISO9001の定めにより、評価シートを記入して判断をしている ②継続時は、必要に応じて訪問し、相互理解をしている 【予定】今までは、QCD中心であるが、今後人権・環境などに付いても価値観を共有していく					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	☐	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	①受託製品は、顧客毎の要求事項に合わせて納品する ②-1 自社製品は、CAEを使用して強度計算をしている -2 全数の気密検査を実施して納品 -3 自社WEBに製品の購入先、製品社員等の情報提供 を数多く行い顧客の信頼性を高める 【予定】①PL法について進める ②安全保障貿易管理について進める			3.9									12.4					
29	☐	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	①ISO9001 認証 済 【予定】ISO9100 ・NADCAP 取得を進める ②NAGANOものづくりエクセレンス 認定 済 【予定】③海外に販売するために英語人材の育成・英語版WEBの作成を進める 【予定】④ものづくり技能者の更なるスキル向上-全社員2級技能士取得・技能五輪全国大会出場									9								
30	☐	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	①受託製品は、顧客毎の要求に合わせて対応する（梱包荷姿、梱包材など） ②自社製品は、ダンボール等極力使用せず、通い箱を利用し、返却送料は当社持ちにしている また、材料は環境負荷の少ないものを選定している						6						12	13	14	15		
31	☐	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	①地元工業高校生と超小型水力発電システムの開発をしている 【予定】実用的な装置にして、小さな河川に設置して街路灯などの電力にしたい	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
32	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	①経済産業省：がんばる中小企業300社 認定 ②総務省：ふるさと企業大賞 認定 ③池田町総合計画審議会の委員、中小企業振興円卓会議の委員 ④池田工業高校の評議委員、産業教育審議会、デュアルシステム世話人 ⑤商工会工業部会、テクノ安曇野高瀬プロジェクト世話人				4					9		11	12		14	15		17
33	□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	①中学校の職場体験4校を受け入れ、職業講話・書籍の全員への配布 ②池田工業高校の長期インターンシップ(デュアルシステム)3年生の受け入れ他、松本工業高校、長野高専 ③地元で技能検定他の講習会に講師派遣 ④技能実習生が地元のお祭り等、ボランティア参加 ⑤全社員が会社周辺のゴミ拾いを年4回実施 【予定】年8回に増やしていく ⑥社員による、自主的な自然災害の募金活動 ⑦会社による、地域のイベントへの協賛金				4							11			14	15		17
34	□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	①取引先へのお土産、お中元・お歳暮のお返しに、地元のワイン・日本酒・お菓子を利用している								8	9		11	12	13				
35	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本	①経営理念等を明文化し毎朝唱和し、毎月1回理念活動として小集団ミーティングを実施している ②ビジョン・年度方針・部門方針を明文化し、年2回方針発表会を全員参加で行っている ③毎月 経営目標の進捗状況と財務状況を全社員朝礼で発表している								8	9								17
36	□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	①新聞記事などの情報から、トップが全社員朝礼にて、事例報告として、コンプライアンス遵守を呼びかけている																	16
37	□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	①ISO事務局、エコアクション責任者を任命している ②中学生、高校生の工場見学は新入社員が担当している ③ゴミ拾い、5S交流は、社員の委員会が担当している ④技能実習生の地域対応は、経営管理課が担当している																	16
38	□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	①顧客満足調査を行い改善し、満足度向上を進めている ②金融機関にも、経営方針発表会に参加していた だき、当社の状況把握してもらっている																16	17
39	□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	①ISOのマネジメントレビューにおいて、リスク対応している ②BCPを策定し、緊急連絡網を作成・配布・更新している																	16
40	□	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	①行政、教育、各種団体の呼びかけには、積極的に経営者が参画して説明責任と結果責任を取るようになっている ②社内では、投票への義務、地域活動への参加、学校行事への参加を呼びかけている 【予定】CSR方針の策定を進める																	16
41	□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	①事業継続計画(BCP)を策定した ②緊急用飲料水の備蓄、自販機の無料利用を設置した ③AEDを設置した ④休日出勤時の事故に対して、当番病院を貼りだしている									9		11		13 13.1			16	
42	□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	①後継者候補を模索中 【予定】後継者育成計画書の作成を進める								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
17：パートナーシップで目標を達成しよう	①地域における美化活動 【予定】参加企業者数の増加を推進する ②SDGs登録企業数の増加 【予定】地域で登録企業数を増やすため、勉強会や登録支援を行う																	17
9：産業と技術革新の基盤をつくろう	①自社製品（セミオーダー型真空タンク等）の海外輸出（2019年 ¥0円） 【予定】海外への輸出の件数・金額を増加させる									9								

